

# 宝物を大切にする方法

karinomaki

## 生きる支え

---

生きていく支えがあること、宝物があることはとても素敵なことです。しかし、大切にする方法によって、その宝物は大きな力を引き出されたりすることがあると思うのです。そのことについて書いてみたいと思います。

## 指輪と念

---

私は、いくつかの他の文章でも書いてきましたが、一つとても大切な指輪がありました。その指輪には、イメージとして、つらかったことを吸収させていました。すると、時がたつにつれて、つらいことがあるたびに、その指輪が頭にうかび、今までもつらいことをのりこえてきたんだから、今度ものりこえよう、と安心するようになりました。しかし、困ったことが起きてきました。マイナスのイメージがいつもつきまとい、悪いことがたくさん起きていくのです。私は、物にマイナスの念をこめてはいけないとわかりました。

それでは、一つ大切なものがあるとき、それについてどんなイメージを持つといいのか、私なりに考えてみたいと思います。

## 生きる軸

---

しっかりと生きている人の心の中には、軸があります。その軸は、言葉で表すことが難しいと思うのですが、どう生きるかという自分の人生観だと思います。一つ特別な宝物を持っている人は、その軸をそれに込めているのかもしれませんが。私の場合も、指輪に生きる軸のイメージを込めていたのですが、その軸は、あくまでも精神的なものであるべきなのです。私の場合、指輪に物質的な執着がありすぎました。宝物である物体に物質のイメージを持ちすぎると、そのイメージが重い念になってしまうのです。人は成長し続けていく生き物です。もし、大切な宝物に、物質としてのイメージを持ちすぎると、執着という念が生まれます。その念が人の成長を邪魔していきます。その念はマイナスを呼び、足をひっぱるものになるのです。

それでは、どうすれば本当に自分の力となる宝物が持てるのでしょうか。それはやはり、精神の大切さを知っていることだと思います。宝物は、それ一つしかだめで、他のものはかわりにならないとまで思う必要はなく、自分の精神の軸が基軸なのですから、その基軸は何にでも込めることが可能だと思います。もし、たった一つの宝物をなくしてしまった場合も、自分の基軸は決してなくさないのですから、遠慮なくかわりのものをつくれればいいのです。

## 宝物を持つ意味

---

では、宝物を持つことにどんな意味があるのでしょうか。私の場合は、物に対してかなり執着する傾向があるので、指輪にこだわるのをやめてからしばらくは、特定の大切な物をつくることをやめていました。しかし、私にとっても、精神の軸は宝物です。精神の軸とは、自分は強くなりたい、そして向上していきたいという意志なのかもしれず、それは、物で表さなくてもいいのかもしれませんが。しかし、この文章では、物から力を引き出すことができることを書きたいので、一つ大切な物があると考えて書いていきます。

以前、カントの純粋理性批判について考えながら、「奇跡は物と精神の間にある」という文章を書きましたが、本当に奇跡は物と精神の間にあるはずなのです。しかし、物は大きなマイナスを秘めています。執着というマイナスです。物やお金や地位などの、目に見えるものに執着しすぎると、人の心はドロドロになってしまいます。人にいばったり、自分の持っているものを持っていない人を見下してしまうという現象も起きます。それなのに、この物質の世界に私達は生まれました。それは、宝物をさがすためなのです。宝物は、自分の生き方という精神の軸といえるのですが、物で表すことも可能なのです。それでは、本当の意味での宝物を持つためには、どうすればいいのでしょうか。

## ネックレス

---

例えば、自分の苦しい時代にいつも身につけていたネックレスがあるとします。そのネックレスは、いつしか心の支えとなりました。そして、いつも身につけているようになりました。そのネックレスに、物質としてのイメージや、私の指輪の場合のようにマイナスのイメージを持つと、それはマイナスの力しか持ちません。しかし、自分のモチベーションを高めるためのものと考えたり、何か守ってくれる力を持つのではないかと少しだけ信じているとすると、本当にそれは力を持つのだと思うのです。その力は決して万能ではないと分かっていることも大切です。もし万能だとすると、それも、物質的な意味をこえてはいません。なぜならば、本当にそのネックレスが万能だとすれば、ネックレスそのものだけに力が入っていることになります。物の域をこえていないのです。精神の軸というものを感じることが、この世界で強く生きるために要請されていることなので、あくまでもそのネックレスは、自分のイメージをつくるためのものであるべきなのです。つまり、そのネックレスは、自分の精神でつくられているものであり、常につくり続ける、向上し続けるものなのです。バージョンアップし続けるのですね。もし、物質的なものであれば、その力は向上することはなく、同じところにとどまったままです。いつしか足をひっぱるものになるかもしれません。

## 不思議な力の謎

---

物は、あつかう人の想念に反応して、力を出します。しかし、その想念は美しくないといけません。この世界は物の世界と言えますが、物と物は人があつかうことによって一つ一つ関連づけられ、力を引き出されるのです。物は物でしかないと思うのと、物は人を助けてくれると思うことは、大きく違ってきます。いつも物に感謝し、自分の精神を込めている人に、物はいつか恩返ししてくれるはずです。そう思うと、この、物の世界に生まれた意味がつかめてきます。

また、自分の力で精神を高めていくことが、物の力を引き出すための基軸となります。物に依存しすぎる人を、物はあまり助けてくれません。たくさんの物を持って満足していることも、ある意味の依存であり、物は、依存しすぎない人がきっと好きです。宝物は少なくてもいいのです。

## 物と精神

---

物に対して精神的な考え方を持つことは、とても難しいことかもしれません。しかし、生きる軸について正しいイメージを持っていれば必ずできます。美しい心を育てていこうとしていれば大丈夫です。そして、物は、精神が形になったものとするイメージが大切です。そのイメージが持てれば、物は私達を助けてくれるようになります。精神中心に考えることが大切なのです。一度助けてくれた物をずっと大切にしながら、また困った問題が起き、今度は助けてくれないからもう大切に思えないと思ってしまうのではなく、今度は自分の実力でのりきってみようと思うといいと思います。それは、自分の精神力を信じることです。その姿勢に対して、宝物は少し力を貸してくれるのです。「天は自ら助くるものを助く」ですね。

自分の力と精神を更新し続けていくために、宝物を支えにするといいと思います。宝物によりかかりすぎず、何かのせいにせず、大切なものは自分をどこかで支えてくれていると信じていること……。その姿勢が、物と精神の間の力を引き出すのだと思います。私も精神の軸をイメージすることを続けています。そうすると、その軸がいろんな周りのものを、私が生きていきやすいようにうまく構成してくれているように思えてきます。物の力を上手に引き出すのは、精神なのです。その精神を常にきよめて生きていこうと思います。



## 補足

---

karinomakiのfc2ブログの、「この世界を宝箱にする魔法」が、この文章とつながっていますので、よかったら検索してみてくださいね

<http://junsui87.blog.fc2.com/>